

ロングヒット「ナボナ」を生んだ亀屋万年堂 今までも、これからも、お菓子のホームラン王 であり続ける老舗菓子店

昭和13年（1938年）に創業した亀屋万年堂（目黒区自由が丘、引地大介代表取締役、03・3723・0345）は、今年で創業80周年を迎える老舗の菓子屋である。王貞治氏が出演したCMで話題となった、同社の看板商品「ナボナ」も発売から55周年を数える。

「スイーツの街」として有名な自由が丘を牽引してきたナボナは、イタリア・ローマのお祭りに触発され「和菓子の感性を活かしながら、洋菓子の楽しさにあふれた商品をつくりたい」という創業者引地末治の想いから生まれた。発売55周年に伴い、パッケージをリニューアルした。コンセプトは「上質」。上質とは品質のみならず、本物であること、作り手・売り手の気持ちがあること、持っていること、流行に終わらず飽きが来ないこと、そのすべてをめぐしつつ、



愛されて80年、菓子づくりの歴史をこれからも



パッケージをリニューアルした代表銘菓「ナボナ」



自由が丘からイメージする「文化」や「スイーツ」「自然」「気取らないオシャレ」などを表現している。また、原材料にもより上質な素材を使用し、おいしさに磨きをかけた。親から子へ、子から孫へ。街並みや時代の変化に合わせて進化しながらも、本質は変わらないもの。昔からご愛顧いただいているお客様には変化を、新しくお召し上がりになる方には感動を、これからもご提供してまいります。